

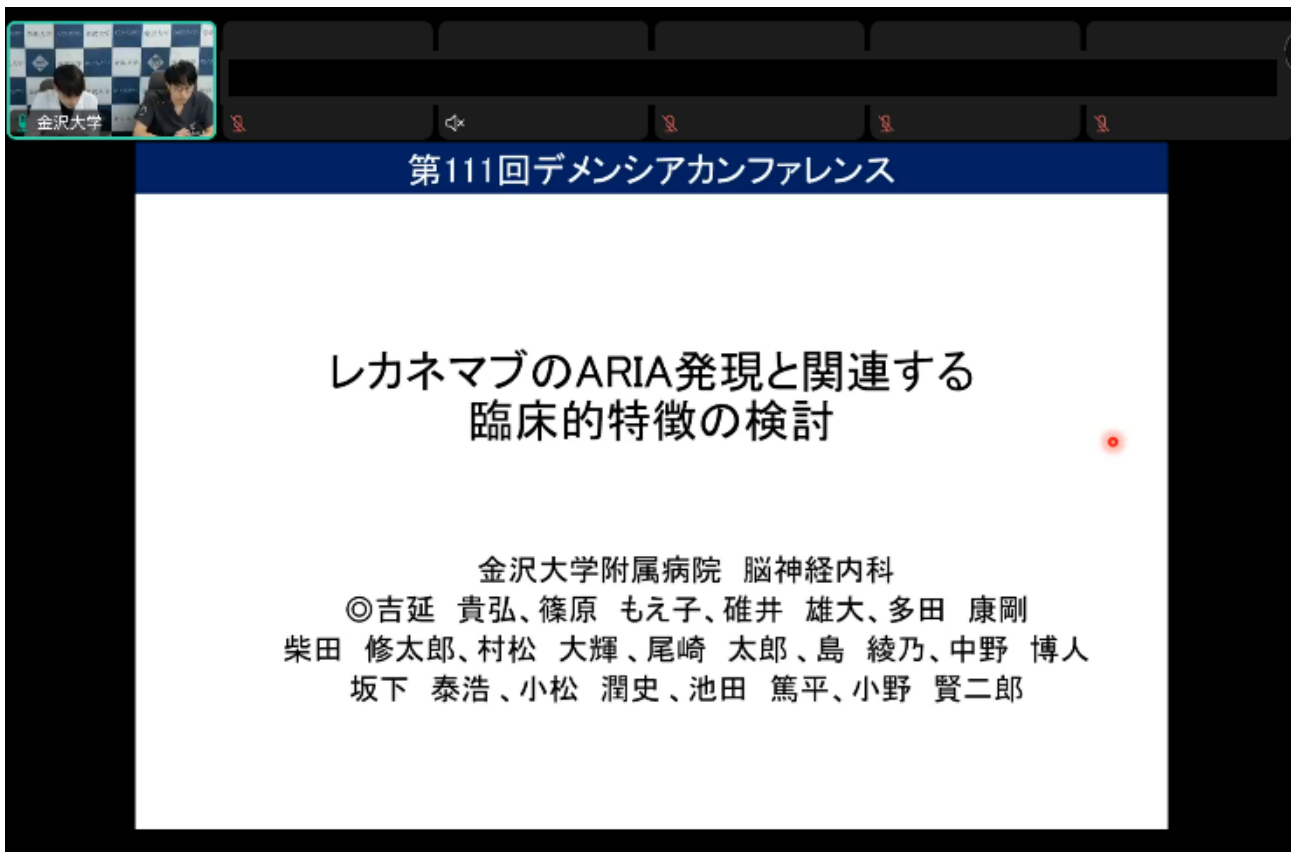
第 111 回デメンシアカンファレンスを開催

2025 年 6 月 17 日

6月17日（火）に金沢大学が担当する北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン（認プロ）
「第111回デメンシアカンファレンス」をWeb上で開催しました。

「レカネマブのARIA発現と関連する臨床的特徴の検討」のタイトルで、金沢大学からの症例報告で進められ、活発に質疑応答や意見交換が行われました。

症例発表の様子とスライド



The screenshot shows a Zoom meeting interface. In the top left corner, there is a small video thumbnail of two people, with the text '金沢大学' (Kanazawa University) below it. The main part of the screen displays a presentation slide. The slide has a dark blue header with the text '第111回デメンシアカンファレンス' (111th Dementia Conference). The title of the presentation is 'レカネマブのARIA発現と関連する臨床的特徴の検討' (Investigation of Clinical Features Associated with ARIA Manifestation of Lecanemab). Below the title, the presenter's affiliation is listed as '金沢大学附属病院 脳神経内科' (Kanazawa University Hospital, Neurology). The list of authors follows: '©吉延 貴弘、篠原 もえ子、碓井 雄大、多田 康剛 柴田 修太郎、村松 大輝、尾崎 太郎、島 綾乃、中野 博人 坂下 泰浩、小松 潤史、池田 篤平、小野 賢二郎'.

第111回デメンシアカンファレンス

レカネマブのARIA発現と関連する
臨床的特徴の検討

金沢大学附属病院 脳神経内科
©吉延 貴弘、篠原 もえ子、碓井 雄大、多田 康剛
柴田 修太郎、村松 大輝、尾崎 太郎、島 綾乃、中野 博人
坂下 泰浩、小松 潤史、池田 篤平、小野 賢二郎

第111回 デメンシアカンファレンス 報告要旨
「レカネマブのARIA発現と関連する臨床的特徴の検討」

発表者：吉延 貴弘(金沢大学附属病院脳神経内科)

司会：小松 潤史(金沢大学附属病院脳神経内科)

【著者】

○吉延貴弘¹, 篠原もえ子¹, 碓井雄大¹, 多田康剛¹, 柴田修太郎¹, 村松大輝¹, 尾崎太郎¹, 島綾乃¹, 中野博人¹, 坂下泰浩¹, 小松潤史¹, 池田篤平¹, 小野賢二郎¹

【所属】

¹ 金沢大学附属病院脳神経内科

【目的】レカネマブの重大な副作用としてアミロイド関連画像異常 (Amyloid-related imaging abnormalities: ARIA)がある。ARIAは治療開始3か月後までに生じることが多い。本研究では、当科でレカネマブ投与し治療開始2か月後及び3か月後のMRIでARIA発現の有無を評価した症例について、ARIAが発現した症例の臨床的特徴を明らかにすることを目的とした。

【方法】対象は2024年1月から2024年10月までに当科で早期アルツハイマー病と診断し、レカネマブ治療を導入し、治療開始2か月後及び3か月後のMRI検査にてARIA発現有無を検討した患者44例(女性73%、平均年齢72.9歳)である。一部の症例は治療開始6か月後のMRIも撮像しARIA発現有無を評価した。ARIA発現群、非発現群に分けて、治療開始前の年齢、E4保有有無、MMSE-Jスコア、脳脊髄液リン酸化タウ181レベル (CSF-p τ) 及びアミロイドPETセンチロイドスケール (CL) を比較した。

【結果】ARIA発現群は5例(11%)でARIA-Hが3例、ARIA-Eが2例だった。年齢、性別、MMSE-JスコアはARIA発現群と非発現群で有意差はなかった。ARIA発現群は有意にE4保有者が多かった。ARIA発現群のAPOE遺伝子多型は3/3が1例、3/4が3例、4/4が1例だった。CSFp τ レベルはARIA発現群で平均126.8 pg/ml、ARIA非発現群で平均75.5 pg/mlであり、有意にARIA発現群でCSF p τ レベルが高値だった(p=0.001)。CLはARIA発現群で平均72.6、ARIA非発現群で平均52.8であり、有意にARIA発現群でCLが高値だった(p=0.026)。

【結論】CSF-p τ 高値及びCL高値はARIA発現と関連する。

【質問、意見】

質問：CSF p τ とCLとの間に相関性はあるのか。

回答：まだ検討していない。今後検討を予定している。

質問：ARIA-Eの画像提示した症例の臨床症状について

回答：軽微なめまいはあったがほぼ無症状であった。画像提示した以外の症例についても明確な症状はなかった。



北陸認知症プロフェッショナル医養成プラン(認プロ)

第111回デメンシアカンファレンス (Web)

2025年6月17日(火) 18:30~

「レカネマブのARIA発現と関連する 臨床的特徴の検討」

発表者：金沢大学附属病院脳神経内科 吉延貴弘

担当：金沢大学

対象：認プロ参加施設及びその他の施設の
医療関係者（医療系大学の学生含む）

【参加方法】

個人のパソコンからWeb会議システム(WebEX)を使用

- ・教育コース履修者、メディカルスタッフe-learning講座の登録者、認プロ参加施設の各委員・事務担当者には、事前に北陸認プロ運営事務局からメールで参加案内をお送りしますので、記載のURLより会議にご参加下さい。
- ・教育コース履修者の出席はオンライン画面にて北陸認プロ運営事務局が確認します。
- ・上記以外で参加を希望される方は 6月16日までに氏名とメールアドレスを北陸認プロ運営事務局までお知らせください。

(ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp)

【お問い合わせ先】

北陸認プロ運営事務局 〒920-8640 金沢市宝町13番1号

TEL:076-265-2149 FAX:076-234-4208 E-mail:ninpro@adm.kanazawa-u.ac.jp URL:<http://ninpro.jp/>